

大杉っ子のあたりまえ生活プラン

生活指導部

	できていてあたりまえ事項	評価の基準（通知表に7項目入る）
月	「さわやかあいさつや返事をする」 ・相手の目を見て挨拶をする。 ・大きな声で返事をする。 ・声の大きさや速さに気をつける。 ・おはようございます、こんにちは、さようならと場面に応じて挨拶をする。	① 進んであいさつしたり、はっきりと大きな声で返事をしたりできる。 A 自ら進んであいさつや返事ができる。 B あいさつや返事ができる。 C はっきりとした声であいさつや返事ができない。
火	「学習や生活に必要なものを準備し、整理整頓をする」 ・学習用具（教科書、ノート、下敷き）等 ・ハンカチやちり紙、校帽等 ・宿題を忘れずに取り組む。 ・机の中の整理整頓をする。 ・傘、上履き、ロッカーの中の整理整頓をする。 ・机の横にかけるものと廊下にかけるものを分ける。	② 忘れ物をしないで必要なものをそろえることができる。 A 忘れ物が学期に3個程度。 B ほぼ用意ができています。 C 忘れ物が学期に10個以上。 ③ 整理整頓できる。 A 道具箱やロッカーに加え、机上や机まわりも常に整理されている。 B 机のまわりの整理ができています。 C 持ち物の片づけができていない。
水	「学校のきまりを守り、安全に生活する」 ・廊下は右側で静かに歩く。 ・静かに集まる。 ・次の授業の準備をしておく。 ・進んで外で遊ぶ。 ・進んで手洗いをする。	④ 学校のきまりを守ることができる。 A 常にきまりや約束を守って生活できる。 B きまりや約束を守って生活できる。 C きまりや約束を守って生活できない。 ⑤ 安全に気をつけて進んで外遊びをすることができる。 A 手洗いをわすれずに安全に気をつけて外遊びができる。 B 安全に気をつけて外遊びができる。 C 外で遊ぼうとせず体力向上や健康保持に取り組まない。
木	「自分の仕事や学習にしっかり取り組む」 ・係活動、給食、掃除当番活動、日直の仕事を責任もってやり遂げることができる。	⑥ 自分の仕事をしっかり取り組むことができる。 A すずんで取り組んでいる。 B 取り組んでいる。 C 最後までやり遂げることができない。
金	「相手の気持ちを考えて仲良く過ごす」 ・ホッと声かけができる。 ・相手の気持ちを考えることができる。 ・悪いことをしても素直に謝ることができる。 ・誰とでも仲良く接することができる。	⑦ 自分勝手な行動やけんか等をせずに仲良く生活できる。 A 分け隔てなく友達に優しくできる。 B 友達と仲良くできる。けんかをしてでも仲直りができる。 C 相手が嫌がることや自分勝手な行動、いじめ等をした。

看護当番から提案する大杉っ子しぐさとは別に、曜日ごとに目標を決め生活の様子をその日のうちに確認していきます。通知表の項目に入っている内容なので評価にも活用できます。

例えば・・・朝の会で日直が目標の確認。帰りの会で担任が確認して記録する。

（注）今後、学期ごとにデータを取り、取り組みの成果について検証していきたい。